

応募規定

応募資格

年齢、性別、国籍を問わず、どなたでも応募できます。グループや複数応募も可能です。

[各賞および副賞]

最優秀賞 1作品 賞状ならびに賞金：10万円、副賞
優 秀 賞 2作品 賞状ならびに賞金：各5万円、副賞
佳 作 5作品 賞状ならびに賞金：各3万円

内容

- 子どもたちが、いのちや食べ物、農業の素晴らしさを感じられる内容としてください。
- 作物・家畜の生育や生態、調理や加工に関する正しい知識をふまえた内容としてください。

※場所を問わず全国どこでも演じられるよう、特定の農畜産物のブランド名等は使用せず、過度な方言の使用はお控えください。



作品上演対象

幼児から小学生までの子どもを対象とします。

紙の仕様・描き方

- 用紙サイズは、縦約27cm・横約39cm。枚数は8～12枚程度。
- 用紙は画用紙くらいの厚紙を使用してください。

八つ切り画用紙がおすすめです。

- 立体作品は不可とします(貼り絵は可)。
- 紙芝居の絵の裏に脚本(文)を縦書きし、絵と脚本それぞれに通し番号を振ってください。
- 紙芝居の1枚めには絵の他にタイトルと作者名(ペンネームも可)を入れてください。作者名は、「脚本 ○○○、絵 ○○○」と書いてください。

応募方法

- 中面の応募用紙をコピーして、必要事項を記入し、作品といっしょに送付してください。
- 応募用紙は下記の「家の光公募サイト」からもダウンロードできます。
<https://www.ienohikari-koubo.com/syokunou-kamishibai/>
- 送付のさいには、折り曲げたり丸めたりせずに梱包してください。
- 応募作品の返却をご希望の方は、返送先を記入した着払い伝票を必ず同封してください。
- 作品は、現物の他にカラーコピーやCD-R(ファイル形式はJPEGまたはPDF画像)、写真(2L版=127mm×178mm以上)での応募も可とします。ただし、その作品が二次審査会の対象となった場合は、現物を送付していただきます。

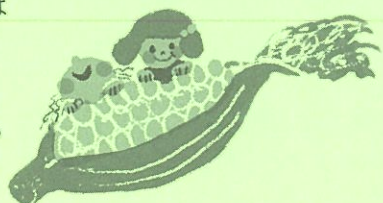
※送付いただいた個人情報は本コンクール以外の目的には使用しません。



注意事項

- 入選作品の著作権は主催者に帰属します。
- 入選作品は本会Webサイト上にPDFで掲載し、ダウンロードして活用できるようにします。
- 応募は未発表のオリジナル作品に限ります。ただし、以下の項目に該当する作品の応募は可とします。
→食農教育で既に活用している作品
→他のコンクールに応募したが、入選していない作品

- 他の紙芝居の模倣・類似と認められる作品は、入選後であっても賞を取り消す場合があります。
- 既存のキャラクターは使用禁止です。
- 民話等をもとにした作品は不可とします。



結果発表

入選者には令和4年12月上旬頃に電話もしくはメールにて連絡します。審査結果は令和5年2月上旬より本会Webサイト「家の光公募サイト」に掲載し、『家の光』令和5年3月号で入選発表します。

第12回「最優秀賞」受賞作品

「いちばんのかぼちゃ」 埼玉県 わびみよ

さいとうさんの畑のかぼちゃたちは「いちばんのかぼちゃ」になりたいくて、どうにかして大きくなろうと奮闘中。かぼちゃたちとさいとうさんの会話が愉快で楽しく、個性豊かなかぼちゃたちを通じて、育つ楽しみ、育てる楽しみを学べる作品です。

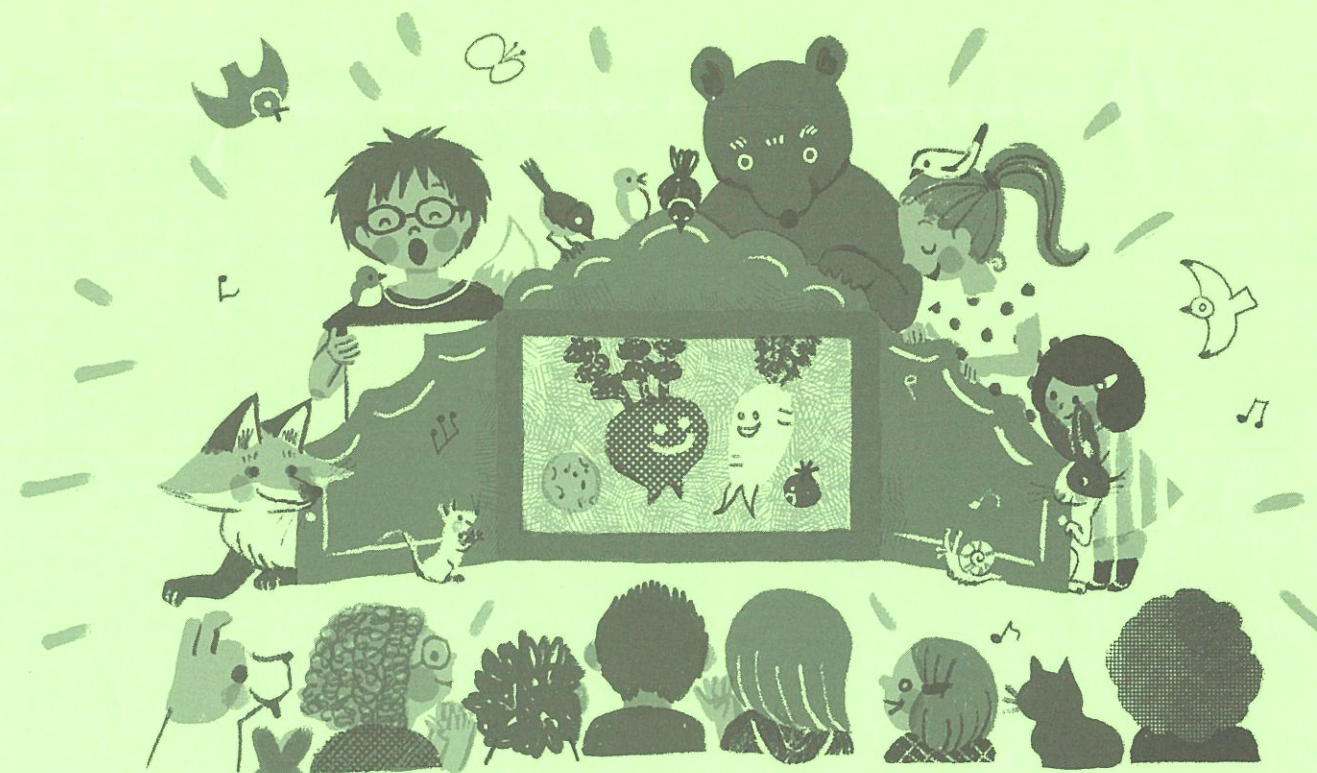


イラスト/eto

紙芝居コンクール

～第13回～
食農教育

子どもたちにいのちや食べ物、農業のたいせつさをわかりやすく、楽しく伝えていく「食農教育紙芝居」を募集します。食農教育の現場で使える紙芝居を個人で、親子で、グループで創作し、どしどしご応募ください!!



募集期間 令和4年 7/1 金 ～ 10/14 金

※締切日消印有効

[主催]
一般社団法人 家の光協会
[後援]
一般社団法人 日本児童文芸家協会
一般社団法人 全国農業協同組合中央会
JA全国女性組織協議会

審査員(敬称略)

- 長野ヒデ子 (絵本作家、紙芝居作家)
- 藤本勇二 (武庫川女子大学准教授)
- 正岡慧子 (児童文学作家)
- JA全国女性組織協議会 役員
- 家の光協会常勤役員

賞と賞金

- 最優秀賞 1作品 賞状と賞金 10万円 + 副賞
- 優秀賞 2作品 賞状と賞金 各5万円 + 副賞
- 佳作 5作品 賞状と賞金 各3万円

※副賞はJAタウンギフトカード

応募と問い合わせ先

一般社団法人 家の光協会 食農教育紙芝居係
〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11番地
電話：03-3266-9011 FAX：03-3266-9051
メール：syokunou-kamishibai@ienohikari.or.jp

「食農教育紙芝居コンクール」に関するWebサイト

家の光公募サイト 検索

<https://www.ienohikari-koubo.com/syokunou-kamishibai/>

一般社団法人
家の光協会

(一社)家の光協会はJAグループの一員として、雑誌『家の光』『地上』『ちやぐりん』『やさい畑』のほか各種単行本の発行、食農教育や読書活動など、さまざまな出版文化活動に取り組んでいる団体です。

紙芝居作りのポイント

紙芝居は大勢の観客を前に演じるものです。

絵本のようにひざにのせて読むものではありません。

そこで、紙芝居を作るときは、紙芝居ならではの特性を生かすことが大切です。

監修／長野ヒデ子（絵本作家・紙芝居作家）

より詳しく
知りたい方は
こちらへ！



1 脚本

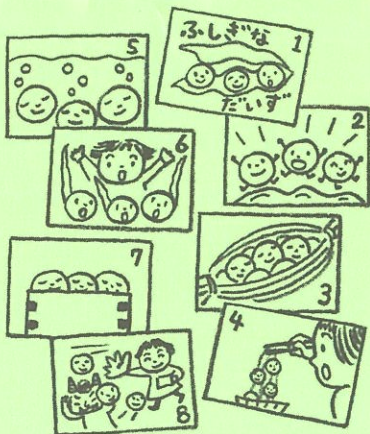
まずは、テーマを決めます。「演じる」ということをしっかりと頭に入れて、登場するキャラクターの会話を中心に、演じやすいストーリーを考えてみましょう。声に出して演じながら考えると、より効果的です。

- テーマはあれもこれもと欲張らず一つにしぼりましょう！
- 脚本は、全体のバランスも考えて、長くなり過ぎないように注意！

2 箱がき

紙芝居の展開を吟味するために、場面ごとの下絵を描いてみます。これを「箱がき」といいます。

下絵を見ながら、流れをよく検討しましょう。良い紙芝居は、一目で場面の状況が伝わり、リズムがあります。



3 ひな型

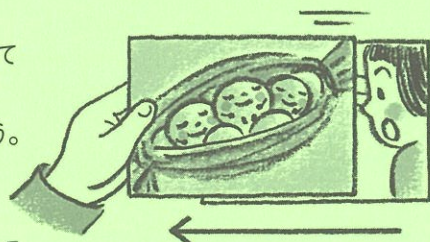
「箱がき」をもとに、はがきサイズの紙芝居（ひな型）を作ってみましょう。紙芝居は観客から見て右から左に抜いていきます。

「画面の「抜き」の効果（次の場面に登場する人物は画面の右に書く等）」や全体のバランスを考えましょう。

4 試演

「ひな型」の紙芝居を演じてみてみましょう。必ずだれかに見てもらい、感想を聞いてみましょう。

試演することで絵や脚本を深め、作品の完成度を上げましょう。



絵は右から左に抜きます

5 本書き

紙芝居のサイズの紙に本書きをします。上手に描くことをあまり意識しすぎず、遠くからでも絵がよく見えることに重点をおき、のびのびと描きましょう。

- 紙芝居は、舞台に入れて演じるものですから、画面の端は、1.2～1.5cm位（舞台の枠の分）あけるようにしてください。
- 画材や描き方を工夫し、遠くからでもよく見える絵に仕上げましょう。離れたところからでもよく見えるようでない、と、作品の良さが十分に伝わりません。クレヨンや、パステルなどを使う場合は、色うつりしないよう色止めスプレーを使うことをおすすめします。色鉛筆は薄いのでおすすめしません。



画面の端は
1.2～1.5cmくらい
舞台の枠にかくれます

【参考】 絵と脚本の書き方

紙芝居では、1枚めの絵の裏に2枚めの脚本、2枚めの絵の裏に3枚めの脚本……、というように書いていきます。従って、1枚めの絵の脚本は最後の絵の裏に書くことになります。また、画面を「抜く」ことを考えて、脚本は縦書きにします。1枚めからお話をはじめるのも紙芝居のポイントです。

イラスト／電田麻衣

作品名				
ふりがな		ふりがな		
応募者名 (グループ名)		代表者名 (グループの場合)		
		応募人数	名	年齢 (代表者)
ふりがな		ふりがな		
脚本		絵		
住所 (代表者)	〒 — ※日中に連絡がとれる番号をお書きください ※学校からの応募の場合 電話： () 担当者 () メールアドレス： @			
職業(代表者) または、 学校名・学年				
応募作品の返却 (いずれかに○)	有 ・ 無			
	※有の方は、返却先を記入した着払い伝票を必ず同封ください(切手不可)			
作品に関する コメントおよび 簡単なあらすじ				
応募のきっかけ (いずれかに○)	1. 雑誌『家の光』 2. 家の光公募サイト 3. チラシ 4. 『公募ガイド』 5. 「登竜門」 6. 前回は応募した 7. 学校の授業や部活動 8. その他 ()			

※ご記入いただいた個人情報は本コンクール以外の目的には使用しません。